

平成 29 年 4 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

4 月の業種別景況の前月比 DI 値は、14 業種の内、好転が 5 業種、7 業種が同等、2 業種が悪化となり、全体の景況感も好転している。

製造業の一般機器、輸送機器の受注は上向き、非製造業のサービス業は客数の増加で、売上が増加している模様である。一方、卸売業、小売業等では売上が減少しているとの報告である。

8 業種から人員・人材不足の報告があるが、過去には他業種からも報告があり、ほとんどの業種で問題となっている。

また、東アジア情勢をはじめとする海外リスクも経営上の不安要素である。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 4 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI 値}$

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化：20.0% DI 値：▲15.0% ポイント

売上高 $(\text{増加} - \text{減少}) = \text{DI 値}$

前年同月比は、増加： 17.5% 減少：31.3% DI 値：▲13.8% ポイント









収益状況 $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI 値}$


前年同月比は、好転： 8.8% 悪化：22.5% DI 値：▲13.7% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 4 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲14.3	25.0	▲33.3	▲50.0	▲33.3	22.2	50.0	▲3.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲20.0	▲22.2	▲75.0	▲18.2	▲20.0	0.0	▲100.0	▲23.4
							

全 体
▲15.0


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	人口減少にともなう売上の減少が目立つ。	調味料製造業
	「お伊勢さん菓子博」（4/21～5/14）が盛大に開幕。山口県ブースに70品、百貨店の委託販売に28品の出展。	パン・菓子製造業
	売上は4月25日時点で対前年同月比ではぼイーブンである。大河ドラマの反動による減少はほぼ納まり、平年の水準に戻った。空調機器のうちガスヒートポンプ系統の入替え工事を実施（整備費約1,100万円）、複数税率対応型POSレジへの機器更新（導入費約800万円）、鮮魚系冷蔵ショーケース6本入替え（約500万円）など、合計約2,400万円の設備投資を自己資金で実施した。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが悪い。今後の世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	季節外れの大雨が降るなど農作物への影響が懸念されている。地球温暖化に伴う異常気象のせいか、過去の知見が全く活かさない状況で、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応した農産物の売り上げに関する保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	ベトナム人の受入れを止め中国人実習生を6名受入れたが、今後はミャンマー人等他国の受入れを検討する。	下着類製造業
	売行きが良く無い模様で、メーカーも在庫を抱えている。また、中国生産も増えているので、受注が減少している。	外衣・シャツ製造業 下関市
	5月の連休前迄の納品が終わったが、追加の発注分の仕事がある。仕事量は確保できているものの、資材等在庫の納品が遅れることが多く、生産現場が少し手薄の状況である。製品納期がほぼ同じたため、先の生産が心配である。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	若者の定着が悪く、従業員の高齢化が進んでいる。	製材業・木製品製造業
印刷	3月は繁忙期ということもあり印刷需要は旺盛であったが、その反動もあり4月は芳しくない。	印刷 下関市
	営業人員が増えた分、昨年と比べ売り上げは増加傾向にあるが、昨年受注の物件は減少し、業界の景況も依然として悪化傾向にある。	印刷 山口市

<p>窯業・土石製品</p>	<p>4月の出荷量は、 (平成28年4月)骨材 65%、路盤材192%、再生材 78% ↓ (平成29年4月)骨材101%、路盤材 56%、再生材118% 値上げが叶ったが、実際は値下げ価格での取引が多い模様で、出荷量が多いが、売上が上がらない。過剰な値下げ競争となっている模様で、組合員には適正価格で取引するよう指導している。</p>	<p>砕石製造業</p>
	<p>出荷量は、前月比110%、前年同月比87%。平成28年度出荷は、対前年度比88%となり、3年連続で対前年度比を割り込んだ。平成29年度は対前年度比で約92%と4年連続減少の厳しい見通しとなっている。現時点で、セメント・骨材等の資材調達に、特に問題は生じておらず、生コン価格も安定している。</p>	<p>生コンクリート製造業</p>
	<p>今まで雇用を抑えてきた事業所は人材不足が発生し、人材が多い事業所は仕事の確保に奔走する。石材業は、年によって仕事量の増減が激しいため、人材育成も必要だが今後を考えると雇用には不安要素の方が多い。事業主やベテランの職人の高齢化も人材不足の一因となっている。</p>	<p>石工品製造業</p>
	<p>萩市内の4月観光客数及び売上は前年同月比で同等。3月4日にオープンした旧萩藩校明倫館跡「萩・明倫学舎」が4月17日で5万人を突破し人気の観光スポットとなっているが、館内ショップの萩焼の売上げは依然として苦戦している。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの4月売上は、前年同月比で同等となっている。関東・関西方面の百貨店や問屋・陶器店からの受注も、前年同月比較で同等に推移している模様。</p>	<p>陶磁器・同関連製品製造業</p>
<p>一般機器</p>	<p>前月と変わらないが、やや上向きの傾向にある。海外プラント関係は順調。雇用は相変わらず人手不足。トランプショックに端を発し、EU、北朝鮮、中国、ロシア、さらにシリア問題と、いずれも経営上の不安を感じさせる要因があるのは否めない。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>機械検査、機械加工関係の下請け企業の受注状況は引き続き安定している。食肉加工、惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、人材の確保が困難で、外国人技能実習生の受入・増員の相談があった。また、農業(養豚)法人からも、事業拡大の人材確保が困難なため、実習生受入の相談があった。介護の受入についても、複数の介護施設からの要望があり、大きな需要になる可能性がある。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>

	<p>金型の生産設備操業度で、主要設備のマシニングセンターはやや上昇しているが、故障もあり、納期対応に追われている状況。金型の受注では、商談から確定までが長くなかなか決まらないことが多いが、目先は忙しい状況。成形製品の生産設備操業度は、受注状況ともに昨年同時期より増加傾向。5月はゴールデンウィークの稼働日数減少もあり、稼働日数相応のまずまずな実績となりそうである。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両部門は、これから本格的に生産量が増加し繁忙となる見込みだが、コスト圧縮の要請が厳しい。精密加工部門は踊場の状態。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>海苔の漁期は終了。売上は前年同月比で▲13.8%となり、海苔の高値が影響した。</p>	乾物卸売業
	<p>魚が獲れず入荷が少ない。天然フグは多いが価格が高騰、養殖フグは価格は安定しているが、フグのシーズンが終わり販売先もない。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>緩やかな景気回復と言われるほどの良い景況感はないが、若干の動きはある。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>組合員数店に聞くと、売上の微増と微減が同数であり、ほぼ前年と同じ程度であった。メーカーの美容部員の減少にともない売上が落ちている店もある。組合員の中には店舗を縮小して収益が上がっているところもある。</p>	化粧品小売業
	<p>地区の中小企業者の動向では、小売業は入学シーズンで通学自転車の動きが多少ある。制服の動きは少子化の影響で少ない。建設業は仕事量はあるが人員確保が難しい状況。自動車関連の製造業の工場稼働率は順調である。東邦工業が工場新設し80名雇用予定のようである。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>「ゆめタウン徳山」等郊外店がある中、「イオンタウン周南久米」の第2期の追加オープンもあり中心市街地への来街者の減少傾向が続いている。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>前年同月頃と比べ客数が減っている。中心市街地の百貨店でイベントがあると客数は増加するが、売上に繋がっているかどうかは疑問である。全体的に厳しい。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>平成28年度は1組合員の減少に留まったが、全盛期に比べると半分以下となっている。今後は、店主の高齢化や後継者不在のため、組合員数が減少していく可能性がある。</p>	各種商品小売業 下関市
	<p>先月同様、衣料品の核店舗の売上がアップし、全体の売上を押し上げているが、他の衣料品については、ほぼ前年を下回っている。</p>	各種商品小売業 長門市

商店街	食料品・日用の消耗品・雑貨類等は堅調に動いている。主力の婦人服が低調ではあるが、売上好調な店舗が一部ある。雇用の確保が出来ていない。	山口市
	組合員も高齢化し、死亡・入院等で数件の閉店が出ている。親族も継がず、住居兼店舗となっているところがほとんどで貸すことも出来ず、商店街として手の打ちようがない現状。	宇部市
	売上は、衣料品を中心に時計等も多少上向いた。夏に向け衣料品の売行きに期待をしている。最近できたビジネスホテルもまだあまり売上はない模様であるが、これからの期待している。	萩市
サービス業	今年は桜の開花が遅く入学式の頃に桜の見頃となり、中旬まで来店数が多く例年より集客できたと思われる。下旬は、多少落ち込んだが、ゴールデンウィーク前となり盛り上がり来た感がある。	美容業
	暖かくなったので、来店サイクルが良くなった。	理容業
	28年度末の山口県における自動車継続検査台数（登録車＋軽自動車）が、425,851台と対前年比2.2パーセントのプラスとなった。年度前半は、東日本大震災などの影響から対前年同月比を大きく下回る結果となっていたので心配されていたが、結果的に盛り返すこととなった。継続検査台数は、整備事業者の経営に大きく影響するので今後もこの状況が続くことが期待される。	自動車整備業
	人手不足が続いており、営業時間の短縮を検討中。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員は対前年同月比で95%、売上も対前年同月比で97%と前年割れとなったが、昨年の2桁程の増加の影響も考えられる。宿泊施設の従業員不足が顕著で、部屋は空いていても対応できない施設もあり、これも前年割れの一因と考察される。	旅館業 山口市
	客単価が全体的に上がっている。リピーターやシニア客は増加しているが、ビジネスでの宿泊客がやや減少している。週末はほぼ満室だが、平日の稼働率が低い。	旅館業 下関市
	4月の施設利用者（入浴者数）は前年同月と変わらない。売上については飲食店部門が減収となり、総売上高は12%の減収となった。飲食部門は競合店があり相乗効果となっていない。	旅館業 長門市
	歓送迎会の時期で全体の客数が増加し売上も増加。スタッフ不足の店舗の売上は減少しており、スタッフの充実が売上増加のポイントとなる。	飲食業

	クリーニング業界は、年間通して一番の繁忙期に突入のはずが、4月の気候が不安定のためなかなか波に乗れず、地域差はあるが昨年に比べ1割～2割需要が減っている。GW明けに取戻すことが出来ればいいが、年々厳しい状況となっている。消費者が「クリーニングに出す」タイミングを逃してしまった場合、大きな山が期待できないかもしれない。	普通洗濯業
建設業	3月中電への工事申請は136件、太陽光発電の申請13件、オール電化申請85件。LED街路灯への切替・新設は11件であった。	電気工事業
	工事量の減少が鮮明になって、暫く鎮まっていた社長連中のぼやきが聞こえるようになった。得意先が契約締結を延ばし始めた。	左官業
	4月に1件の発注があったが、本格的な発注時期はゴールデンウイーク明けで、年々競争が激しくなり、各社対応を検討している。地区の学校等の耐震改修は終了しており、発注量が増加するとは考えにくく、平年並みの発注量に期待をしている。	管工事業
	工事量は少し増加してきている。	屋根工事業
	4月内装工事は、終わってみると3月より売上が2割上がっている。その要因は、3月時点で職人の空きが予想されていたため、急に入ってきた仕事で割に大きい物件を受注したことだと考えられる。売上は上がったが利益率は下がり、残った利益は3月と変わらなかった。職人を遊ばせない為には、短期間でそこそこの仕事も受ける必要がある。	内装工事業
	年度末の工事も完了し落ち着いている。今年も組合員の脱退で組合員数が減少しており、新規組合員の獲得も困難である。人を斡旋しても雇用に結びつかない状態で、事業者としては工事量の確保が先の模様。先行が不透明なため、意気が下がっている。	土木工事業 柳井市
	平成29年4月の受注高は、対前年同月比105%。今年度の累計は、対前年比49%。	土木工事業 萩市
運輸業	新年度に入りドライバー不足の難問の上に、60歳以上のドライバーが全体の約50%で、長距離ドライバーが少ないという労働問題が急浮上している。国内輸送はやや上昇、輸出は横ばいとなり、前年同月比で約4%弱のプラスであった。燃料費は2円の値上げ。軽油引取税の見直しは中小輸送業者の願望である。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送受注量は、前年同月比で7%程落ち込んでいる。景況以前の問題である乗務員不足により受注が思うように出来ないでいる。燃料価格は、高値ではないが、年末より徐々にあがり、前年同月比では30%	一般貨物自動車運送業 防府市

	程度の値上がりである。	
	即戦力となる中途採用人員の確保には相変わらず苦労しているが、パート採用が複数人あった。将来の受注を見越した設備投資、営業戦略の話合いが増加してきている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	2名組合員が減少しており、組合員全体の売上は▲5.7%であるが、売上が2%位増加している組合員もいる。数年前にサイクリングロードができ、タクシーの待合スペースが減少し下関駅近くの駐車スペースもなくなっていたが、今回入る権利を取得できたので客を待つにも少し余裕が出来る。組合としては組合員の減少で対応できない地域がある。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱金額は、前年比▲0.1%（平成29年3月1日～平成29年4月20日分）。3月1日～31日分は▲0.6%、4月1日～20日分は+0.6%。3月は1日～20日が▲7.1%と不調だったが、残りの10日間で持ち直した。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域だが、3月分については、周南▲2.3%，下松▲4.7%，光+5.7%，防府市地区が▲2.1%で、組合員の全域では▲2.1%、地区外（員外）+27.2%で合計▲0.6%。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。前月よりは下がったが、ブタン、プロパンのCPの高騰が続いている（前月600.0\$/トンが今月545.0\$/トン）。為替は少し円高になり、燃料単価は、前月より▲5%となったが、前年4月分に比べると+24%となっている。タクシー乗務員は慢性的な不足で、高齢で退職する人員減少を、採用で補いきれないため、稼働できない車両がある状況。例年、連休期間はタクシー需要が激減するので、連休までに少しでも売上げを確保してほしいと思っている。	一般旅客自動車運送業 周南市
	3月の取扱高の増加は一時的なものであった。	港湾運送業
その他 非製造業	人手不足で悩んでいる。	介護事業